

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

流域内講座最終回&土佐山学舎 4 年生の学習発表会！

2月18日(土)に、鏡川流域内講座「高知・鏡川 RYOMA 流域学校」の最終発表会を高知大学総合協研究棟の中庭にて行いました！この中庭は「中庭気ままベンチ」という「ぼっちり」のスポットにもなっており、中庭を防災やコミュニティの機能を持たせて活用すべく、楽しい体験チケットを発行しています。当日は土佐山学舎4年生の環境学習発表会もあわせて開催し、鏡川や「ぼっちり」を通じてつながった人たちが中庭に集まりました。



仲間募集【鏡川受講生&土佐山学舎発表会@高知大】応援P

+500 もらう

鏡川講座受講生&土佐山学舎発表会の応援P

発表会当日だけの参加・関わりに留まらないのが「ぼっちり」の魅力です！当日に向けて「鏡川受講生&土佐山学舎発表会の応援P(プロジェクト)」が立ち上がり、発表会を盛り上げるためのお手伝いごを募集。受講生などから「ホットジンジャーエールを作りたい！」「焚き火の見守りをしたい！」などの声があり、一緒に会場の雰囲気を作りました^^




焚き火係募集/鏡川受講生と土佐山学舎の子供を温めたい

+500 もらう

鏡川講座受講生&土佐山学舎発表会の応援P

地域の親子連れや受講生が積極的に会場のセッティングに協力してくれたおかげで、素敵な会場が出来上がりました！




丸太椅子の代理購入と運搬

+500 もらう

中庭気ままベンチ

「中庭気ままベンチ」のスポットでは、観客席として使用する丸太を「ぼっちり」で募集！高知市土佐山や本山町などから立派な丸太が集まりました！




土佐山学舎と鏡川受講生の応援で小籠包にデザートつけます！

-100 あげる

鏡川講座受講生&土佐山学舎発表会の応援P

高知大学の近くのカフェ「cafe 'satobito」は、平日の朝に開催している朝カフェなどで日頃から「ぼっちり」を活用中。発表会当日も小籠包やデザートなどを販売し、受講生からも好評でした。



会場設営のあと、土佐山学舎4年生による鏡川の環境学習についての発表会が行われました。

児童の皆さんは、1年間かけて鏡川に関する環境学習に取り組んできました。発表会当日は、3班に分かれ、「鏡川のそれぞれの様子」、「鏡川の生き物」、「水再生センターの仕事」というテーマで班ごとに発表用パネルを作成し、クイズなどを交えながら堂々と発表していました。観覧に訪れた保護者、大学教員、地域の方々、そして受講生からの質問にも受け答えをし、鏡川を通じた世代間交流の場となりました。



土佐山学舎4年生の発表のあと、いよいよ鏡川流域内講座受講生の最終発表会がスタート！受講生自身が考えた自分らしい鏡川への関わり方などを発表し、メイン講師と講座メンターから講評をいただきました。受講生の皆さんは「鏡川流域関係案内人」という「ぼっちり」のスポットとなり、これまで鏡川流域の自然や人を生かした体験チケットを発行してきました。この体験チケットで生まれた多様な人の交流を成果として発表する受講生がほとんどで、鏡川への関わり方の多様性を感じました。また、「鏡川流域関係案内人」のスポットだけに留まらず、「土佐山ジンジャーエール日曜市復活P(プロジェクト)」というオリジナルのスポットを登録し、メンバーを集めてすでに様々な体験チケットを発行して活動している受講生もあり、今後の活動への大きな可能性に溢れていました。



今回の発表会場の提供をはじめ、日頃から「ぼっちり」の取組にご協力をいただいている高知大学地域協働学部の大槻知史教授からの総評をもって、発表会は終了。その後、アユの塩焼きや土佐山ジンジャーシロップで作ったホットジンジャードリンクなど、鏡川にまつわるグルメをいただきながら交流会を行いました！

県外在住の流域外講座1期生や流域内講座1期生も会場に駆けつけ、受講生同士交流を深めながら、それぞれの活動についてアイデアを出し合っていました。



鏡川は高知市内をCのような形で流れていることから生まれた「鏡川ポーズ」で写真撮影。



鏡川漁業協同組合さんから購入したアユを七輪で塩焼きに！身がふっくらした焼き立てのアユに受講生も運営スタッフも夢中でした^^

受講生の皆さんは、講座を通じて出会った自然と人とのつながりを生かして、「ぼっちり」を活用しながら鏡川流域への「関わりしろ」を深めていくことでしょうか。皆さんの今後の取組を楽しみにしています！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。
<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone Android